



飛驒市

No.77

令和5年5月15日発行

議会だより



神岡城常設展示リニューアルオープン
4月1日(土)(神岡町内)

議会構成	2
3月定例会の概要	3～ 9
お知らせ	10
一般質問(10人)	11～15
令和4年活動結果	16

発行/飛驒市議会 ■編集/広報広聴特別委員会



● 議会構成 ●

令和5年第1回定例会最終日（3月22日）に、正副議長の選出、各常任委員などを選任し正副委員長を選出しました。

議長 住田 清美



副議長 井端 浩二



総務常任委員会(7人)

委員長 前川 文博
副委員長 谷口 敬信
葛谷 寛徳
高原 邦子
高徳 純次
住田 清史
澤 史朗



産業常任委員会(6人)

委員長 水上 雅廣
副委員長 籠山 恵美子
野村 勝憲
井端 浩二
上ヶ吹 豊孝
小笠原 美保子



議会運営委員会(6人)

委員長 澤 史朗
副委員長 徳島 純次
籠山 恵美子
前川 文博
上ヶ吹 豊孝
水上 雅廣

広報広聴特別委員会(7人)

委員長 井端 浩二
副委員長 上ヶ吹 豊孝
徳島 純次
澤 史朗
谷口 敬信
水上 雅廣
小笠原 美保子

議会改革特別委員会(7人)

委員長 徳島 純次
副委員長 高原 邦子
委員 葛谷 寛徳
前川 文博
澤 史朗
谷口 敬信
小笠原 美保子

議会選出監査委員

葛谷 寛徳

古川国府給食センター利用組合議会議員(4人)

籠山 恵美子
澤 史朗
谷口 敬信
小笠原 美保子

定例会情報

令和5年 第1回定例会(2月28日～3月22日)

本定例会は、令和5年度当初予算計上のほか、選挙公営制度の導入などを審査するため、2月28日から3月22日までの23日間の会期で開催しました。なお、上程された、条例改正や当初予算などの報告1件、承認1件、56議案、発議1件については、すべて原案のとおり承認、可決としました。

● 保育・医療・福祉・介護に関すること

- 議案第22号 飛騨市障がい児通所支援施設条例の一部を改正する条例について
障がい児通所支援を行うための教室の設置形態及び事業内容を整理するための改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q 職員配置の効率化とはどういうもので、主従の関係というものはどういうものか

A 1つの事業所となることで職員の異動を柔軟に移動させて対応することができる

- 議案第23号 飛騨市老人福祉センター割石温泉条例の一部を改正する条例について
割石温泉の使用料見直し(入浴料の細分化、6歳未満の入浴料の無料化)のための改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q 券売機を導入すれば効率化が図れるのではないか

A とにかく人材が不足しており券売機の導入も検討したが、そういうこと自体が負担になってきている

- 議案第24号 指定管理者の指定について(飛騨市釜崎屋内ゲートボール場)
指定管理者 飛騨市ゲートボール協会神岡支部
指定の期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間)

● 国民健康保険に関すること

- 議案第21号 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
出産育児一時金の額、後期高齢者支援金限度額及び軽減判定所得基準額の引上げ等に伴う改正

● スポーツ・コミュニティ施設等に関すること

- 議案第25号 飛騨市コミュニティー施設条例の一部を改正する条例について
飛騨市東町コミュニティーセンターの廃止に伴う改正
- 議案第26号 財産の無償譲渡について(飛騨市東町コミュニティーセンター)
供用開始から10年が経過したことから、施設を地縁団体へ無償譲渡するにあたり議決を求めるもの
- 議案第27号 財産の無償貸付について(飛騨市東町コミュニティーセンター敷地)
施設の無償譲渡に伴い、敷地部分を無償で地縁団体に貸付けるにあたり議決を求めるもの

◆ 委員会審査での主なもの

Q 修繕が必要な箇所があるが、どのようにして譲渡するのか

A 3月末までに修繕して譲渡する。これ以降については面積按分をかけて負担するか検討する

- 議案第28号 飛騨市使用料徴収条例の一部を改正する条例について
コロナ禍により低迷しているコミュニティ活動を促進するため令和6年3月31日まで公民館等使用料の無料化及び飛騨市東町コミュニティーセンターの廃止に伴う改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q 高齢などにより活動が縮小した状況の把握は

A コロナ禍により合唱などの声を出す団体の活動がストップしているので、今後利用してもらいたい

- 議案第29号 飛騨市ギフチョウ保護条例を廃止する条例について
他法令によってギフチョウの保護が担保されていることによる廃止

定例会の概要

● 選挙に関すること

- 議案第6号 飛騨市議会議員及び飛騨市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例について

飛騨市議会議員及び飛騨市長の選挙において、候補者の選挙運動に必要な費用の一部を公費で負担する制度の制定

◆ 委員会審査での主なもの

- Q 公費による負担はどのような仕組みになるのか

A 事前に選挙管理委員会で確認し立候補者が業者と契約を結び、市から業者へ直接支払する形をとる

- 議案第7号 飛騨市選挙公報の発行に関する条例について

飛騨市議会議員及び飛騨市長の選挙において、候補者の氏名、写真、政見等を掲載した選挙公報を発行するための制度の制定

◆ 委員会審査での主なもの

- Q 期日前投票が増える中で紙だけによる配布となるのか

A 紙の物は最低投票日の2日前までの配布となるが、ホームページでも公開していく

● 情報通信に関すること

- 議案第11号 飛騨市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例について

市の行政手続についてもオンライン化を可能とできるように必要な事項を定めるための制定

◆ 委員会審査での主なもの

- Q マイナンバーだけで手続きが終わり、所得証明などは紐づけられているので必要ないのか

A マイナンバーカードを持っている人の同意を得て情報をもらう形になる

- 議案第12号 飛騨市民間事業者等が行う書面等の保存等における情報通信の技術の利用に関する条例について

民間事業者等が行う書面等の保存等における情報通信の技術の利用に関する事項を定めるための制定

◆ 委員会審査での主なもの

- Q 電磁的保存とはどのようなことか

A 紙以外で申請した情報を保存することで、民間が電子で申請して、その後の処理を電子で保存できるように進めていく

- 議案第13号 飛騨市自主放送施設条例について

飛騨市ケーブルテレビ情報施設を廃止し、飛騨市自主放送施設を設置するための制定

◆ 委員会審査での主なもの

- Q 審議会はどのようなメンバーで頻度はどのくらい開催するのか

A 4町から1人ずつ参加してもらい、市で作成した動画の自主放送を年1回審議してもらう

● 観光施設に関すること

- 議案第14号 飛騨市観光施設条例の一部を改正する条例について

現在休館中のY・U・Meハウスの廃止に伴い普通財産へ変更するための改正

◆ 委員会審査での主なもの

- Q 普通財産となり地元の振興策で利用されるとのことだが、今後、無償譲渡はあるのか

A 敷地が借地のため無償譲渡は難しいと思われる。今後、方法は検討する

● 辺地に関すること

- 議案第15号 数河辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

- 議案第16号 稲越辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
 - 議案第17号 元田辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
 - 議案第18号 坂下辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
 - 議案第19号 北部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
 - 議案第20号 山之村辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 辺地に係る公共的施設の総合的かつ計画的な整備を推進するため、総合整備計画を策定するもの

◆ 委員会審査での主なもの

Q 今後5年間の計画だが令和5年度に取りかかる事業はあるのか

A 代表的なものでは、数河辺地では洞・数河線の法面の改修工事、稲越辺地では市道河合スキー場線の舗装・補修工事などがある

● 農林水産業に関すること

- 議案第30号 飛騨市産業動物獣医療体制確保対策基金条例の一部を改正する条例について
獣医師確保をするための方策として、貸付条件拡充のための改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q 貸付金額をもっと多くしてインパクトを高める必要があるのでは

A 効果の状況をみて見直しをしていく

- 議案第31号 飛騨市家畜診療所設置条例の一部を改正する条例について
飛騨牛の削蹄料及び検査料を定めるための改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q これまでの削蹄は誰がどのように対応してきたのか

A 診療を伴う場合は市で対応していたが、今回明確にし、一部の農家の負担を減らし家畜診療所が対応できるようにする

- 議案第32号 指定管理者の指定について(飛騨河合飛騨牛繁殖センター)の変更について
万波牧場の管理を、令和5年4月1日より飛騨河合飛騨牛繁殖センターと合わせて一括して管理する

● 土地改良事業に関すること

- 議案第33号 飛騨市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について
分担金総額の算定率を引き下げるための改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q 12月1日に遡及して適用させるのはなぜか

A 県営事業が12月1日に採択されており、その日まで遡及して適用させる必要がある

● 人事案件に関すること

- 議案第1号 飛騨市公平委員会委員の選任同意
野村紀文(宮川町)
【任命期間】令和5年3月29日から令和9年3月28日までの4年間【同意】
- 議案第2号 飛騨市教育委員会委員の任命同意
谷口陽信(河合町)
【任命期間】令和5年4月1日から令和9年3月31日までの4年間【同意】

● 職員の給与等に関すること

- 議案第8号 飛騨市職員の自己啓発等休業に関する条例について
職員が自発的や自主性を活かした幅広い能力開発等の機会を確保できるよう、自己啓発等休暇制度を導入するための制定

定例会の概要

◆ 委員会審査での主なもの

Q 休業している場合にアルバイトはできるのか

A 無給となるため法律の制限内で休業の趣旨に影響がなければ可能となるが、その都度判断が必要

● 議案第9号 飛騨市職員の配偶者同行休業に関する条例について

職員の仕事と家庭生活の両立支援の方策として、配偶者同行休業制度を導入するための制定

◆ 委員会審査での主なもの

Q 職員が復帰したときには均衡を考慮して給料調整となるが、働いていた職員と同じ給料なのか

A 同じではなく経験年数を調整して行う

● 議案第10号 飛騨市公益的法人等への職員派遣条例及び飛騨市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

社会福祉連携推進法人の設立及び運営開始に向けた全面支援のため、市からその法人に対し任期付専門職員を派遣することができるようにするための改正

◆ 委員会審査での主なもの

Q これまで派遣できなかった理由は

A 一般任期付職員は条例で定めることで可能となり、今回の改正で明確にし、派遣できるようにした

● 議決が必要な契約・協定の変更に関すること

予定価格1億5,000万円以上の工事の請負について審議

● 議案第3号 市単事業 障がい者グループホーム等整備(建築)工事の請負契約の変更について

合併浄化槽等の処分工事費の追加等に伴う増額、変更後契約金額1億6,644万5,400円

● 議案第4号 市単事業 障がい者グループホーム等整備(機械設備)工事の請負契約の変更について

ふらっと+と相談支援事業所いこいが入ることによる設備変更等の増額、変更後契約金額1億5,394万5千円

◆ 本会議での質疑の主なもの

Q 今後も設計変更で追加工事という形を取られていくつもりなのか

A 令和5年5月末までの工期変更の繰越明許であり、それを見据えての設計変更なので今後はない

● 議案第5号 飛騨市公共下水道古川浄化センターの建設工事委託(耐震補強)に関する協定の変更について

最終沈殿池施設等の耐震補強量の見直しを行ったことに伴う減額 変更後協定金額3億3千万円

◆ 本会議での質疑の主なもの

Q マイナス4,000万円の変更であるが、金額が大きいのので詳しい内容は

A 工事内容の耐震補強の面で、コンクリートの打ち回しの量など削減できるところを詳細に見直した結果、減額が可能となった

● 予算に関すること

令和4年度 補正予算

● 議案第34号 令和4年度飛騨市一般会計補正予算(補正第6号)

8,160万9千円を減額、補正後の予算額は、229億9,658万8千円

● 議案第35号 令和4年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第3号)

事業勘定の5,877万8千円を減額、補正後の予算額は、27億2,510万5千円、直営診療施設勘定の125万3千円を減額、補正後の予算額は、1億9,884万7千円

● 議案第36号 令和4年度飛騨市介護保険特別会計補正予算(補正第3号)

2,993万8千円を減額、補正後の予算額は、34億899万7千円

● 議案第37号 令和4年度飛騨市公共下水道事業特別会計補正予算(補正第3号)

- 2,207万円を減額、補正後の予算額は、11億9,278万2千円
- 議案第38号 令和4年度飛騨市農村下水道事業特別会計補正予算(補正第2号)
462万5千円を減額、補正後の予算額は、3億3,963万5千円
 - 議案第39号 令和4年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計補正予算(補正第2号)
1,024万3千円を減額、補正後の予算額は、1億7,598万5千円
 - 議案第40号 令和4年度飛騨市情報施設特別会計補正予算(補正第3号)
56万1千円を増額、補正後の予算額は、2億8,726万1千円
 - 議案第41号 令和4年度飛騨市水道事業会計補正予算(補正第2号)
収益的収入の1,270万円を増額、補正後の予算額は、5億8,770万5千円、資本的収入の1,181万3千円を減額、補正後の予算額は、4,284万4千円、資本的支出の1,162万4千円を減額、補正後の予算額は、2億7,293万7千円
 - 議案第42号 令和4年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算(補正第3号)
収益的収入の2,840万5千円を増額、補正後の予算額は、15億1,733万4千円、収益的支出の1,000万円を増額、補正後の予算額は、17億5,293万2千円

◆ 委員会審査での主なもの

総務部

Q 新電力倒産の影響金額は

A 令和3年度までと予算規模の比較で、1.5倍～2倍の金額になる

企画部

Q まち・ひと・しごと創生寄附活用事業寄附金の内訳は

A 総務費寄附金のものは、大学とソーシャルビジネスの関係、商工費のものは薬草事業に対する企業版ふるさと納税である

市民福祉部

Q 湯ったりフリーパス券の4月以降の継続を出来ないか。市民が少額の負担をするので出来ないか

A 次年度以降は原油、物価の状況を判断して総合的に判断する

国民健康保険事業

Q 国民健康保険が県に統一されたが、県の運営はどうなっているのか

A 料金の統一は今のところ未定。今年度に県の方向が出てくる

介護保険事業

Q 介護利用者が減少していくと予想しているのか。そうならば対策は考えているか

A しばらくは減少していく。令和12年度には元に戻ってくると予想し様々な介護人材の確保に取り組んでいく

農林部

Q 里山環境維持・保全支援補助金の減額理由は

A 制度設計や集落の周知に時間を費やした事と集落の共同作業が4月初旬のため制度設計前に終了していた

教育委員会事務局

Q 中止した飛騨流葉全国中学生クロスカントリー大会の検証結果を踏まえた今後の取り組みについて

A 富山県南砺市たいらクロスカントリー場の視察等を含めて、令和5年度開催に備える

定例会の概要

令和5年度 当初予算

- **議案第43号 令和5年度飛騨市一般会計予算**
当初予算額は、182億円、前年度比較、3億4,000万円の減額
- **議案第44号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計予算**
事業勘定の当初予算額は、26億1,900万円、前年度比較、7,860万円の増額、直営診療施設勘定の当初予算額は、1億9,800万円、前年度比較、380万円の減額
- **議案第45号 令和5年度飛騨市後期高齢者医療特別会計予算**
当初予算額は、4億6,280万円、前年度比較、1,680万円の増額
- **議案第46号 令和5年度飛騨市介護保険特別会計予算**
保険勘定の当初予算額は、33億5,320万円、前年度比較、1,220万円の増額、事業勘定の当初予算額は、2,000万円、前年度比較、500万円の減額
- **議案第47号 令和5年度飛騨市公共下水道事業特別会計予算**
当初予算額は、13億6,100万円、前年度比較、9,300万円の増額
- **議案第48号 令和5年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算**
当初予算額は、2億300万円、前年度比較、2,000万円の増額
- **議案第49号 令和5年度飛騨市農村下水道事業特別会計予算**
当初予算額は、3億3,400万円、前年度比較、300万円の減額
- **議案第50号 令和5年度飛騨市個別排水処理施設事業特別会計予算**
当初予算額は、1,450万円、前年度比較、10万円の増額
- **議案第51号 令和5年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計予算**
当初予算額は、1億8,700万円、前年度比較、1,000万円の増額
- **議案第52号 令和5年度飛騨市駐車場事業特別会計予算**
当初予算額は、370万円、前年度比較、10万円の増額
- **議案第53号 令和5年度飛騨市情報施設特別会計予算**
当初予算額は、480万円、前年度比較、2億7,220万円の減額
- **議案第54号 令和5年度飛騨市給食費特別会計予算**
当初予算額は、3,500万円、前年度比較、40万円の増額
- **議案第55号 令和5年度飛騨市水道事業会計予算**
収益的収入の当初予算額は、5億7,221万6千円、収益的支出の当初予算額は、5億5,724万1千円、資本的収入の当初予算額は、3,917万8千円、資本的支出の当初予算額は、1億8,343万7千円
- **議案第56号 令和5年度飛騨市国民健康病院事業会計予算**
収益的収入の当初予算額は、16億295万5千円、収益的支出の当初予算額は、18億9,568万7千円、資本的収入の当初予算額は、1億5,248万4千円、資本的支出の当初予算額は、1億5,977万8千円

◆ 委員会審査での主なもの

総務部

Q 地域公共交通の河合町・宮川町地域を重点地域として路線の見直しとは

A JR発着時間との連帯を図る

企画部

Q 国の地方創成人材支援制度を活用した民間企業からの非常勤派遣とは

A 全国のコンサルタントを含む企業から、マッチングして専門の人材を招へいする

振興事務所

Q カミオカラボの専門的知識とは具体的に何か

A 最先端の技術の分かりやすい説明、展示、動画配信や子供達へ伝えるなど難しいものを分かりやすく説明できる人材を募集している

市民福祉部

Q 県下の銭湯は値上げしているのに、割石温泉は何故値下げするのか

A 老人福祉法に基づく施設であることから、料金の負担を軽減することとした

環境水道部

Q 電気自動車は大雪時等、災害時に電気がなくなり渋滞や災害助長が心配では

A 全国的な課題であり特に対策はしていないが今後、検討する

農 林 部

Q 畦畑地区での牛放牧の実施にあたり、畜産農家が放牧に供用する牛の購入とあるが仔牛なのか

A 昨年放牧を行ったが、自分の牛が見えない所では不安だということで、今回は妊娠した牛を購入し放牧規模を拡大し実施する

商工観光部

Q 新しい観光大使をお願いしたとあるが、令和5年度は具体的に何をやるのか

A 市の観光大使は17名いる。来年度事業としてはまちの旬のものを取材し、情報発信していただく事やヒダスケを利用して黒内果樹園の収穫を手伝うイベント等を検討している

基盤整備部

Q 若年代が住宅を建てやすくするため、農地を宅地利用とあるが対象地域はどこか

A 農地保全と土地利用は大事であるが、若者は郊外へ住居を構える方が多いので場所は特定していないが都市計画区域である

教育委員会事務局

Q 地域部活動化について、スポーツ系、文化系、まちづくり系に分けるとあるが、まちづくり系とはどのような部活になるのか

A 地域の方が活動している薬草の会とか、詩吟、民踊、和太鼓など地域の方と一緒に活動できればいいと考えている

消 防 本 部

Q 災害発生時、危機管理課のドローン業者とどのように連携しているのか

A 消防の業務では早急な対応が必要。危機管理課のドローン業者は一人なので早朝の搜索や山中を想定すると、危機管理課の職員での対応が適切である

病院事務局

Q 委託料はどういったものか

A 成育医療研究センターからの専攻医は委託契約で人件費相当分を支払いしている

● 報告に関すること

● 報告第1号 損害賠償額の決定について

消防自動車による民有地内浄化槽マンホール蓋損傷事故における損害賠償額の決定

● 専決処分の承認に関すること

● 承認第1号 令和4年度飛騨市一般会計補正予算(専決第3号)

【専決第1号】国が実施する子育て応援給付金の追加、ふるさと納税寄附金の調整及び除雪経費の追加

● 発議に関すること

● 発議第1号 飛騨市議会の個人情報の保護に関する条例について

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、議会の事務における個人の権利利益を保護するための制定

◆ 討 論 ◆

議案第44号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計予算（賛成者多数で可決）

反対討論 籠山恵美子 議員

高すぎる国民健康保険料をさらに毎年6,000円引き上げというのは、市民の生活実態を見据えない一方的なやり方である。国民健康保険制度は、加入者の多くが高齢の年金者、非正規の労働者など社会的立場の弱い方々である。このインフレ不況の中で、年金が百数十円下がっては心配をし、光熱費が上がって悲鳴を上げている市民が大勢いる。

市民のことを第一に考えるのであれば、一般会計から繰入補填をして、国民健康保険料を引き下げることである。国民健康保険制度を安定させる手だては、これしかないと思う。そうしたことから反対する。

賛成討論 井端 浩二 議員

当市の国民健康保険は、人口減少に伴い加入者も減少し、加入者の年齢も高齢化している。その中でも保険料は県下42市町村の中37番目、下から6番目で低い保険料となっている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により物価高と生活費の圧迫がみられることから、保険料の値上げを据え置きされた。

令和5年度より、保険料が年間約6,000円上がるようだが、激変緩和措置で財政調整基金を投入することで保険料を抑えてきたためである。

当市の受診率は全国でも高い位置にあり、市民の健康の関心が高いことから、そうした意味でも健全な運営がされるものと考え賛成する。

小笠原	水上	谷口	上ヶ吹	井端	澤(議長)	住田	徳島	前川	野村	籠山	高原	葛谷
○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○

賛成：○ 反対：×

今号より議会だよりが一部カラー化されました

平成23年6月発行の29号から全ページをモノクロ印刷としてきましたが、今号より議会だよりの表紙まわりをカラー化することで視認性を高めること、また、掲載情報等については市民広報モニターによる定期的なモニタリングを実施し、意見や改善提案を反映しながら、市民にとってわかりやすい議会だよりへ見直しができる仕組みを導入します。

市民との意見交換会について

今年度の市民と議員の意見交換会は、7月上旬から下旬にかけて市内18会場(河合、宮川、古川各4会場、神岡6会場)を予定しております。また初めての試みとして、飛騨市役所西庁舎3階会議室においてオンラインでも参加できる会場を準備し意見交換会を開催します。

詳しくは、6月1日及び15日回覧予定のチラシまたは飛騨市議会ホームページでご確認ください。皆様のご参加をお待ちしております。

6月定例会 日程予定

6月13日(火)	本会議(開会日)	6月26日(月)	常任委員会(付託案件審査)
21日(水)	一般質問(1日目)	27日(火)	予算特別委員会
22日(木)	一般質問(2日目)	29日(木)	本会議(閉会日)
23日(金)	一般質問(3日目)		

※日程は議会運営委員会でご協議し変更となる場合があります



◀ 会議録はこちらから

一般質問



井端 浩二 議員

出産祝い金、子育て支援について

①飛騨市独自の出産祝い金を第1子から出せないか。

②児童手当も中学校までなので、高校生への支援を出来ないか。

答 弁 ①合併当時から子育て支援金や入学準備金の見直しを行いながら現在に至っている。国や県においてもいくつかの応援交付金事業が予定されている中で、市が独自の出生祝い金を出したとしても出生数が上がるとは考えられず、まずは国や県の施策を見て明らかに出生率が上がるようであれば支援を検討したい。

②国においても児童手当の18歳までの引き上げを検討しているようで、このような中で市の追加支援策を打ち出すことは予算面からも厳しいと考える。親の意見も確認しながら、国、県の支援

が行き届かない所の支援を考えていきたい。

スポーツ少年団支援と公共施設予約について

①古小、西小グラウンドの照明設備の改善や備品の整備は出来ないか。

②公共施設予約についてのシステム等に問題点はないか。その対処はどうしていくのか。

③施設管理者側と各種団体等の話し合いの場を設けることは出来ないのか。

答 弁 ①グラウンドの照明の設置については、学校や他団体等の意見を確認しながら考えていきたい。備品等については学校の備品ではなく、今後買い替える予定はない。

②システムの不具合や、管理者の操作認識不足によるトラブルがあった。しっかり対処していく。

③利用者の不都合なことがあれば話し合いの場を設けることは可能である。



YouTube ▶



野村 勝憲 議員

私は2月に子育て・ふるさと納税・行財政改革・観光振興で関西や東海12の自治体訪問

なんでこんな時、市長や職員と議員だけ12人で台湾旅行だ！の声に対し

市長や議長含む5,000人コロナ感染！修学旅行にも行けない子供の事考えたか等怒り①参加者は②費用は③事前説明は④何故3月台北の富山・長野・岐阜観光展に合わせなかった？

答 弁 ①都竹市長・部課長等職員と議員は澤・葛谷・住田・谷口・上ヶ吹②9万円のおみやげ代含む151万円③無回答④知らなかった。

銀杏と桜・寺と城・食と自然を生かす観光

NHK「さくら」大銀杏での出会いは印象的①提案済の祭広場から道の駅アルプ迄のウォーキングコースは②祭会館で「おかえりさくら」上映を③地域資源を生かす誘客は **答 弁** ①まち中クアオルトとして検討中②NHKに交渉③広域観光へ

子育てしやすい環境づくり

①37匹の猫に年5,000万円のふるさと納税を使うなら、年3,600万円予算で国の児童手当が無い高校生600人に1人年6万円支給すべき②坂巻公園の遊具は杉崎と同じ0～2歳・保育園・小学生等年齢別に **答 弁** ①市の支援策は考えていない②更新時に年齢別設置

身を切る議会改革と行財政改革は

岡山県奈義町は身を切る改革で議員定数3割・職員2.5割減で年1.6億円削減し、その金を子育てに使い出生率全国トップで1割の人口減。一方飛騨市は人口が3割減なのに職員と組織は増え、都竹兄弟や葛谷親子の税金生活等で聞かない役人天国。議員定数委員会での大嘘発言や市民の声や弱者を顧みない議員がいる限り議会改革できない。身を切る行財政改革と持続可能な市役所は

答 弁 社会環境の変化で職員数と組織が増大。今後職員数等削減せず、身の丈を超えた事業は行わない。



YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

部活動の地域移行について

従来の部活動では主に教員が指導を行うが、地域移行では外部の部活動指導員が行なう部活動移行の目的として I 部活動を担当する教員の負担を減らし、授業へ注力しやすい環境を作る。II 部員が減少中の部活動では複数の中学校が集まることで人員確保ができる。①保護者の費用負担について②部活動指導者や確保について③部活動地域移行の教育的指導について④部活動の地域移行でみてきたことは。

答 弁 ①保護者の費用負担の増加が懸念されるが、保護者の負担軽減は最重要課題と認識している。②岐阜県において、「地域部活動指導者育成研修事業」を利用して指導員を育成している③学校と地域クラブ活動指導者と連携を図り、体制を整える。④移動時間がかかること、冬季は早く日が

暮れるため、部活動が十分でない。

山林を守り災害に強い地盤作り

昨年末、山形県で発生したがけ崩れは土砂災害警戒区域であった。飛騨市においてもレッドゾーンやイエローゾーン以外でも整備されない山林で山崩れが発生しないか心配である。

①新規土砂災害地域の調査について②元気な山林にするには③間伐材を備蓄木として利用は。

答 弁 ①区長会や農業改良組合等において点検等実施し報告を頂く、また耕作放棄地において関係する箇所の点検は必要である。②令和3年度から森林環境譲与税を活用し未整備森林の整備を始めた。③燃料としての木材備蓄について検討したが、市には運用上の課題も多く、活用は困難である。人工林の間伐材活用や広葉樹など未利用資源の有効活用は大切な課題である、引き続き研究を進める。

YouTube ▶



籠山 恵美子 議員

物価・燃料高騰の対策の拡充を

①市の福祉施策は対象条件が「住民税非課税」が基本形となっている。しかし困窮しているのはこの階層だけでなく、大勢の市民が苦しんでいる。対象条件を緩和し、多くの市民生活を支えるべき。

②物価高騰対策でたいへん好評な「ゆったりフリーパス」の無料入浴券だが、今年度で終了となる。ぜひ継続を

答 弁 ①「住民税非課税」という一律基準では不公平感があることは承知している。給付対象者の拡大はさらに研究する必要がある。②この取り組みが負担軽減に役立ったかの調査をしつつ、現状を見極めて判断していく。

学校給食無償化を今こそ決断すべき

これで3度目の質問である。少子化と子育てで最も求められるのが「教育の負担軽減」。また憲法26条で「義務教育は無償」としており、権利なのだ。市長の裁量で無償化を実現すべき。

答 弁 圧倒的に大学・専門学校以上で教育の負担感が大きいので、市は支援すべき対象者を見定めることに注力している。

水道事業の抜本的な見直しについて

昨年に続き再度、水道事業の見直しが提案されているが、経営の原資を市民の水道料金に頼るのでは八方ふさがりだ。地方公営企業法に沿って適正に繰り入れをし、水道料金のむやみな引き上げをしないよう求める。

答 弁 人口減少・高齢化による経営状況の悪化全国的な課題。繰り出し制度や交付税措置の拡充を引き続き強く国に要望していく。

(その他、平和教育について質問)

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



谷口 敬信 議員

基盤整備事業について

①岐阜県の事業計画(古川町谷地内の一級河川宮川護岸改修工事)について ②飛騨市の基盤整備部事業計画について ③各振興事務所所管の小規模工事の予算(令和4年度1億5千万円)増額について

答 弁 ①事業計画については令和2年度に採択され、概ね10年間と伺っており、市といたしましても早期完成に向け、用地交渉に同行するなど全面的に協力している。②繰越工事は発注済の7件を含めて全体で19件を予定している。全体予算9億円のうち主要工事は約50件を予定しており、上半期には約40件、8割の早期発注に努める。③市所管の要望件数が671件うち年度内実施済が320件(約48%)で緊急性及び小規模でも効果の高いものなどを優先し速やかに実施していく考えである。

観光名所「御所桜」周辺施設／整備について

①JR東海グループ飛騨市「ヒダスケ」が連載した高山本線無人駅「杉崎駅」周辺の施設の整備について ②「桜鏡」のライアップと水田の水張に伴う費用の助成金について

答 弁 ①御所桜シーズンにおけるトイレの設置や用水路の安全対策については、JR東海に要望している。今後は杉崎区及び加茂川発展会の皆様のニーズもお聞きしながら、ヒダスケの活用も含め、御所桜や小島城、杉崎公園などを含めた周遊コースの検討などを進めてまいりたい。②助成金につきましては令和5年度からは新たに「まちの元気応援事業」とし、補助率1/2上限10万円で、地域の元気に繋がる新たな事業を支援する。また、まちづくり拠点「node」においては、地域の提案に対して、企画運営や補助金活用のアドバイスも併せて実施している。

YouTube ▶



住田 清美 議員

外国人就労者と多文化共生について

①人材不足と外国人就労者への期待②外国人就労者の生活環境について③多文化共生の推進

答 弁 ①優秀な外国人材に活躍してもらうことで、企業の成長も促進され人手不足の解決策ともなる。②ベトナム人とインドネシア人各1名ずつを外国人実習生等業務支援員に任命し、言葉や仕事、生活の困りごとのサポートをお願いしている。③・支援体制の整備…市役所に簡易AI通訳機の導入や飛騨市多文化共生支援員の認定を行う
・外国人住民の生活支援…外国人の語学支援のため日本語教室を開催
・市民への理解促進…地域住民と外国人住民との交流会を開催

多機能型障がい者支援センター古川いこいの開設について

①古川いこいの運営について②障がい者グループホームの運営③ショートステイ利用④ふらっと+ (プラス) の機能について

答 弁 ①地域生活支援拠点整備について、1カ所に支援機能を集約する「多機能拠点型」とし、市が司令塔立場で関係支援機関の連携の要となり、体制確立に取り組んでいく。②当初は入居定員の半分である男性3名、女性3名を6月から募集開始とする。重度の方についても受け入れる意向である。③神岡のピースでも整備しているが、現在利用実績はない。古川いこいでもショートステイ2床整備している。④ふらっと+を設置することで予防的視点の動きを強化し、この施設を活動拠点として、市の巡回訪問員を増員し、アウトリーチを中心とした取り組みを強化していく。

YouTube ▶





前川 文博 議員

アフターコロナに向けて？

①まちなか簡易検査センターにかかった費用の総額は。

②検査キットの在庫と活用について。

答 弁 ①検査キット14,550個の購入費1,268万円。人件費2,394万円など。支出済総額5,527万円。②2,867個の在庫がある。春の例祭関係等に提供しても、現在の在庫で対応可能。追加購入の予定はない。薬局で大量に在庫が発生した場合、対応を検討する。

多機能型障がい者支援センターについて

①2年間の稼働状況と支払った指定管理料は。

②令和6年以降の指定管理について。

③このままでは令和5年度も短期入所（ショートステイ：宿泊）の受入れは0（ゼロ）人。お試し利用など始めるべきではないか。

答 弁 ①生活介護は約5割、就労継続支援B型と日中一時支援は約3割、短期入所は利用の申出がなく0（ゼロ）。令和3年度は270万円の赤字で指定管理料200万円の支払、令和4年度も上限200万円を支払予定。②指定管理者による運営努力や適切な運営状況を確認していく。③受入れのネックになっている問題を確認し対応する。

社会福祉連携推進法人の設立について？

①連携推進法人の役割は。

②参画できる社会福祉法人の範囲は。

③市からの職員派遣終了後はどうなる。

答 弁 ①人材確保面では両法人合同での一括した求人採用活動等。②社会福祉法人以外にも社会福祉を目的とする福祉サービス事業を運営する法人や、社会福祉事業等従事者を養成する機関も参画が可能。③運営交付金で経費負担の軽減を図りながら、安定的な運営を目指す。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

市民サービス等はできるだけ公平公正に図っていく必要があるのでは…

自治法上、ゴミや一般廃棄物は市の独自の役割である。神岡では終活や断捨離で峠を越えて古川のクリーンセンター等に持ち込みするが、高齢者だけでなく、共働きの夫婦も皆が不便に感じている。①神岡は民設民営であるがため料金が高くなるが同一になるようにはできないのか②近隣の自治体との料金の比較はどのようであるか③市民すべてが当事者であるゴミ廃棄物問題をどのように考えているのか。

答 弁 ①民設民営では必然と料金に差が出る。粗大ごみ処理には高齢者世帯には助成している。②近隣の市村の費用負担は高いものもあれば、低いものもある。③市内市民等しく同条件でサービスを提供できるのは理想である。過疎化・高齢化

が進むと様々な課題が起こってくる。人手不足の中で集約されてくるであろう。その中で少しでも不便さや不公平感がある方々に共感を持って、それを解消するように努力する。

市民が安心安全に暮らし守るために昨今の窃盗・強盗事案に対しての考え方は

新聞テレビで連日報道された複数人による強盗殺人事件は他人事ではなく、市民の間でも話に上る問題である。所管は警察であるが市として防犯に力を入れるべきである。警察との連携、防犯グッズの研究、コロナで失われた近所・地域のつながりの復活など、いろいろあるがどのように考えているのか。

答 弁 防犯カメラの設置に助成をしている。声掛け運動や防犯教育、啓発宣伝等、自主的な地域安全活動への取り組み推奨を続けている。防犯協会、自治会、各種団体と連携を更にしていく。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



徳島 純次 議員

小中学校の不登校について

①不登校が昨年度より継続している割合とどの様に評価し、課題は何か。

②不登校の要因と要因を分析し、今後の対策にどの様に繋げるか。

③不登校児童生徒への居場所の一つとして、なかよしキッズを検討したらどうか。

答 弁 ①不登校が前年度から継続している割合は、小学校50%、中学校60%程である。一歩ずつ進む子供たちを支え、励まし動き出す力を蓄えること、人や社会との関係を繋ぎ続けることの支援を心がけている。

②全国と同様に「無気力、不安」が不登校の大きな要因となっている。対策としては、誰もが持っている弱い自分や苦しい心をさらけ出せる、心理的な安全性を確保する。

③なかよしキッズの利用は、学習の場として選択肢が増えて大変喜ばしい事と考える。3月から既に利用が始まっている。今後はスタディーサポーターの訪問も加えながらさらにどのように展開したら良いか考えていく。

いじめについて

いじめの3年間の推移と要因および今後どのような支援をし、指導を行うか。

答 弁 令和2年度218件、翌年189件、令和4年度は2月までで108件と減少している。減少に安心せず、いじめのあらゆる可能性を考えて対応する事を学校で共有している。



YouTube ▶



水上 雅廣 議員

少子化と子育てについて

①若い女性の流出をどう抑えるか。②子供への温浴施設フリーパス券は交付できないか。

答 弁 ①若い女性が働きたいと思うクリエイティブな職場の存在、男女の性別役割分業に対する意識改革を進める。市の事業をアウトソーシングすることで企業を創出、女性の働く場を創出したい。②子どもたちが自ら様々な活動に使えて、活動範囲を広げるとともに、家族の支援につなげるために、「子ども版いきいき券」のようなものを導入できないか検討し始めている。

宮川保育園の整備について

小学校との併設による保・小の運営と効果は。

答 弁 効果として、遊びを通じた学びから、学習が中心になる環境変化がスムーズに行われるこ

と、園児と児童が交わることで、規律ある態度や人と関わる力が養われること、学校体験や交流が盛んになることで、情操教育につながることで、入学に際して子どもの様子を容易に繋ぐことができるなどが期待される。小規模な地域である特性を踏まえ、地域と連携・協力をしながら、子どもたちの健やかな成長と自立を育むことができる子育て環境づくりを念頭に準備する。特色のある保育園・小学校となることで、移住される方や、小規模ならではの保育や教育を希望される方のニーズにも対応したいと考えている。

国道360号整備促進について

猪谷交差点の改修計画は今どんな状況か。

答 弁 現時点で富山県側から岐阜県に対し具体的な整備計画の情報が入っていない。今後どのように要望活動を進めていくか、富山市を含めた近隣自治体、各種団体とさらなる連携を図る。



YouTube ▶

議会及び議員の活動の活性化と充実を図るため、市民参加、行政との議論並びに議員間での議論を通じて、開かれた議会運営の基本事項を定めることによって、市民の福祉向上と市政の発展に寄与することを目的として議会基本条例を定めています。令和4年の活動について自己評価をしましたので公表します。

区分	1 市民と情報を共有し市民の多様な意見を市政に反映させる取組み	2 市が執行する政策や事業を監視・評価する取組み	3 市民に開かれた分かりやすい議会運営への取組み
具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民との意見交換会の場において、議会情報を市民へ伝えるため「議会報告」を実施する。 ● 主要な事業や市民生活に変化や影響を及ぼしやすい事業等について、市の考えまた議会の対応を説明する。 ● 市民との意見交換会や各種団体との意見交換会で得た意見を常任委員会で調査し要望（提言）事項を取りまとめる。 ● 市に対し、制度創設や見直し・予算措置を要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 議決責任を踏まえ、委員会に付託された案件について論点整理を実施し審査の度合いを深める。 ● 各部の主要事業や市民に影響を及ぼしやすい事業に対し、計画的な所管事務調査を実施する。 ● 市長の諮問機関や意見聴取機関の公開される会議に傍聴者として委員を派遣し、監視評価を継続し市民意見の把握に努める。 ● 各常任委員会で調査した事務について、要望又は政策提言に結び付けるよう継続した調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 傍聴しやすい環境を作るために、本会議場へ車いすで入場できるようにバリアフリー化を検討する。 ● 議会の専門用語に対する理解を深めるための解説集を作成する。 ● 市発信メールに対する「議会」区分を設置し情報を発信。 ● 小学生の議会見学、中学生の議会傍聴を定着させるため調整を図る。 ● 情報を収集する制度を導入し、議会への意見や感想、改善提案を募集し調査検討を進める。
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民との意見交換会は18会場で開催し、142人の参加を得た。 ● 市民との意見交換会において、令和3年の議会活動を報告し配付した。 ● 市民との意見交換会で得た意見を6つに仕分けし、常任委員会で審査後、議会運営委員会で最終審査を経て調整した。 ● 令和4年10月25日、市民との意見交換会意見と調査事項を含めた要望書を市へ提出。令和5年2月16日、市から回答を受理。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各定例会で議案の論点を整理するために委員会を開催した。 ● 所管事務調査は今年度の主要事業を中心に調査を実施し、課題を抽出した。 ● 公開された会議に常任委員会から委員を派遣し、市民意見を把握し議会内で情報共有した。 ● 所管事務調査、委員派遣、管外視察について報告をまとめ、本会議での報告とホームページでの公表を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本会議場のバリアフリー化を重点に多様性を検討するために議会改革特別委員会を設置した。 ● 市発信メールに「議会」区分を設置し情報を発信し、252件の登録を得た。 ● 古川小学校6年生（60人）、宮川小学校5・6年生（4人）、古川中学校2年生（4人）、飛騨高山高校1年生（2人）が見学。 ● 令和5年度から議会発信情報に対するモニターを導入するように調整した。
評価※	<p>おおむね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍であったが18会場で意見交換会を開催し、議会活動を報告するとともに様々な意見を聴取することができた。また、その意見と調査事項を含めた市政への要望書を提出し、一部の事業について令和5年度へ反映させることができた。 	<p>おおむね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議案の論点を整理するため、議案に影響を与えた法律や制度を事前に確認し審査に臨むことで、短時間の中で論点を絞った議論ができた。 ● 所管事務調査は、市事業の進捗を確認しながら適時に調査を行い事業の与える影響や今後の政策の進む方向制を確認することができた。また、委員派遣により公開される審議会での市民意見を聴取し審議に役立てることができた。 	<p>一部達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー化に向けては、議会改革特別委員会を設置し検討する体制を整えることができた。 ● 市発信メールに「議会」区分を設け登録者得たが、増加させる必要がある。 ● 議会発信情報に対する意見を募集するため、モニタリング（市政モニターへ依頼）を実施することを調整した。

詳細な資料は市公式ホームページで公表しておりますのでご確認ください。

※ 評価は、達成、おおむね達成、一部達成、未達成、未実施による評価外の5段階の評価